

独立行政法人日本スポーツ振興センター契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成26年4月24日(木) 独立行政法人日本スポーツ振興センター 第二特別会議室	
委員	委員長 清水 幹裕(弁護士) 委員 青山 伸一(公認会計士) 委員 野川 春夫(監事)	
審議対象期間	平成26年1月1日～平成26年3月31日	
審議案件(合計)	30件	(備考)
役務(小計)	26件	契約案件84件から30件を抽出し、審議を行った。 抽出案件について説明を行い、各委員の質問等への回答を行った。
競争性のない随意契約	3件	
一者応札・一者応募	19件	
複数者応札	4件	
工事(小計)	4件	
競争性のない随意契約	3件	
複数者応札	1件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別添のとおり	別添のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

委員からの意見・質問、それに対する回答

意見	回答
一者応札・一者応募（役務）	
<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤の購入について、複数者に入札説明書を配布しているにもかかわらず、一者応札になってしまうのは、仕様書に問題があるのではないか。 ・MRIの購入金額が非常に高い。どのような仕様書を作成したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の問題よりも複数種類の薬剤を購入する案件のためである。辞退した業者からは、全ての薬剤を取り扱うことが難しいとの回答であったため、結果的に一者応札となった。 ・仕様書の作成に当たっては意見招請を実施し4者から意見をいただいた。その意見を基に複数者が参加できる仕様書を作成した。予定価格については、同種の機器の納入実績がある国公立大学の値引率等を参考とした。
競争性のない随意契約（工事）	
<ul style="list-style-type: none"> ・公募型プロポーザル方式にて業者を選定した設計業務の契約はどのように実施したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の範囲内であれば契約できるため、契約相手と価格交渉の上、契約を行った。
審議結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・特殊案件の予定価格については、専門家からの意見・情報を採用する等、適正な予定価格の作成に努めること。 ・一者応札・一者応募が続いている特殊案件については、公募随意契約を実施し、効率的な契約が実施できるよう検討すること。 	